

性の多様性を実践的に学ぶ
6つの物語

LGBTsと
社会 DVD
全4巻

レインボー ストーリーズ

監修：日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

LGBTsと
医療 DVD
全2巻

・監修者より



日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

2015年11月に東京都渋谷区と世田谷区で導入された同性パートナーシップ制度は、全国の自治体に影響を与え、現在では130の自治体（2021年10月現在）で導入されるようになりました。同性パートナーシップ制度はLGBTs施策の象徴的な取り組みになりつつありますが、並行して求められる環境整備として、教育・医療・福祉・地域等での取り組みが不可欠です。LGBTsの人々はどの社会にも地域にも存在していることを前提にして、性的指向や性自認による格差や不平等を是正するような取り組みが社会的に求められるようになっていきます。

ある病院関係者は「LGBTsの患者さんはこれまでに見たことがない」、ある市役所職員は「うちの市にLGBTsの人はいるのでしょうか。これまでにカミングアウトされたこともなければ、相談窓口に関わり合いがあったこともありません」と話されたことがあります。カミングアウトされたことがないイコール自分の周囲に存在しない、というのは間違いです。LGBTsの人々に対する差別や誤解がある社会は、安心してカミングアウトできる状況では決してないこと、「本当の自分」について話すことはとても勇気がいるハードルの高いものであることを十分に知ったうえで、取り組みを進めていく必要があります。

性的指向や性自認の多様性を知ること、その啓発と環境整備を進める一助として、“レインボーストーリーズ”を是非ご活用ください。

① 職場 ～声に出せないハラスメント～

450V006S

社会人が生活の中で多くの時間を過ごす職場。ここでは無自覚に発せられる言葉がLGBTs当事者を傷つけ、勤労意欲を低下させたり、メンタルヘルスを悪化させる原因にもなります。そうしたハラスメントをはじめ、トランスジェンダーが直面する就職活動の困難や情報管理の甘さから起こる無自覚なアウティング、制服規程や同性パートナーを認める社内規程整備の必要性など、職場で起こりうる様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示します。（約25分）

